

## UDCBK 令和4(2022)年度 事業中間報告

## 1. 事業プロジェクト

## (1) 都市デザイン連携プロジェクト

## &lt;南草津駅周辺の公園を中心としたまちづくり&gt;

## ア. 東山道記念公園でのマルシェ

計画段階から UDCBK も支援していた団体(こだわり滋賀ネットワーク南部甲賀支部)により南草津駅周辺における魅力ある滞留・交流空間の創出を目指し、南草津駅西口の東山道記念公園にて、公共空間である公園を活用したマルシェが、開催された。

5月28日(土) 開催 約200名の来場



## イ. みなくさまちライブラリー

本を通じて人が繋がり、交流が生まれることを目指し、UDCBK のオープンスペースの一角を利用し活動をしている。今年度は市民の皆さんに呼びかけ、お気に入りの本を寄贈いただく「植本祭」を開催した。

10月19日(水)および 29日(土)

## &lt;南草津駅周辺の公民連携空間の利用促進&gt;

## ア. ワークショップ「未来の南草津を考えよう！」(社会実験準備事業)

今年度、社会実験準備事業を委託している立命館大学の寶珍助手の企画により、人々が滞留したくなる魅力的な空間づくりを建築物の屋内歩道にまたがる公民連携の空間の利用促進を目的に、ワークショップが開催された。

9月 3日(土)、10月 7日(金) 開催

11月12日(土)、12月17日(土) 予定



## イ. 南草津駅周辺の交通対策事業(都市計画部との連携)

草津市都市計画部で進めている南草津駅周辺の交通対策事業について UDCBK として産学公民の多様な知見を活用し、長期的な見通しを持った都市デザインを描くために都市計画部と連携し事業に参画した。

## ウ. ストリートピアノの設置

南草津駅周辺の滞留・交流空間の一つとして、フェリエ南草津1階スペースにストリートピアノが社会実験的に設置された。(一般社団法人 ストリートピアノドネーションズ)

8月1日(月)から約半年間の設置予定



エ. アーバンデザインスクール(学習事業)

南草津駅前空間の賑わいやウォーカブルなまちづくりを進めるための講座を、前期(6月～10月)5回開催した。また、11月以降、後期についても5回開催を予定している。

**(2) 都市と交通プロジェクト**

ア. 南草津駅周辺の交通対策事業(都市計画部との連携) 再掲

草津市都市計画部で進めている南草津駅周辺の交通対策事業について UDCBK として産学公民の多様な知見を活用し、長期的な見通しを持った都市デザインを描くために都市計画部と連携し事業に参画した。

イ. スマートウォーカブルタウン研究会

学習事業の参加者からの提案事業として、郊外住宅地において歩いて暮らせるまちづくりを目指し、産学公が連携しながら研究を進めてきた。今後、実際に地域に住む皆さんを交えたワークショップなどを開催し、事業を進めていく予定。

**(3) 大学生が住むまちプロジェクト**

ア. アーバンデザインセミナー(学習事業)

「大学のあるまち、学生のあるまち」を年間の共通テーマとし、大学があることによって、あるいは学生がいることによって地域と繋がり、まちに貢献するのかといったことを学ぶ。

イ. 南草津交通ウィーク

立命館大学鉄道研究会の持ち込み企画として、JR 西日本と連携し交通関連イベントを開催した。12月頃に立命館大学鉄道研究会から未来の南草津の交通についてのプレゼンテーションイベントを開催予定。

9月10日(土) 10時～、14時～

鉄道に関する発表やくイズなど 約200人の来場

9月10日(土)～17日(土) オープンスペースにてパネル展示



**2. 学習事業**

学習事業は、オンラインでの開講・受講と UDCBK での視聴を基本として運営する。

**(1) アーバンデザインスクール(前期後期各5回)**

市民と専門家をつなぐコミュニケーターを育成することを目的に、アーバンデザインの考え方や事例を専門家から体系的に学べる機会を提供し、今後のまちづくりに活かす。

前期は、「多世代の居場所となる駅前の地域拠点施設について考える」をテーマに JR 南草津駅前の公共施設の在り方について学ぶ。



前期	開催日	内 容	参加者数
第1回 ① <sup>1</sup>	6/23	テーマ: 公民連携による地域拠点施設の再生 講師: 阿部 俊彦氏 (UDCBK 副センター長 立命館大学 理工学部 建築都市デザイン学科 准教授)	50人 内訳 オンライン 37人 UDCBK 13人 アーカイブ視聴 27回
第2回 ②	7/9	テーマ: 全国の地方都市の駅前再開発と地域拠点施設 講師: 辰巳 寛太氏 (株式会社アール・アイ・エー 東京本社 開発企画部 室長)	57人 内訳 オンライン 39人 UDCBK 18人 アーカイブ視聴 25回
第3回 ③	8/5	テーマ: 地方都市の駅前の賑わいづくりとまちづくり会社 講師: 岩崎 正夫氏 (まちづくり福井株式会社 代表取締役社長)	52人 内訳 オンライン 39人 UDCBK 13人 アーカイブ視聴 36回
第4回 ④	9/8	テーマ: インクルーシブな居場所となる地域拠点施設 講師: 岡田 昭人氏 (早稲田大学 都市・地域研究所 招聘研究員)	37人 内訳 オンライン 22人 UDCBK 15人 アーカイブ視聴 24回
第5回 ⑤	10/7	テーマ: 稼働率100%の地域拠点施設のマネジメント 講師: 山下 裕子氏 (まちなか広場研究所 主宰、UDC 信州 アドバイザー)	34人 内訳 オンライン 24人 UDCBK 10人 アーカイブ視聴 26回

※ 前期コーディネーター 阿部 俊彦氏 (UDCBK 副センター長)

後期は、「南草津のパブリックスペースの利活用に向けて」をテーマに公共空間の活用やウォークアブルなまちづくりについて学ぶ。

後期	開催日	内 容	参加者数
第1回 ⑥⑦	11/2	テーマ: 今、なぜパブリックスペースの利活用なのか 講師: 中塚 一氏 (株式会社地域計画建築研究所 代表取締役社長) 岡井 有佳氏 (UDCBK センター長 立命館大学 理工学部 環境都市工学科 教授)	一人 内訳 オンライン 一人 UDCBK 一人

※ 後期コーディネーター 岡井 有佳氏 (UDCBK センター長) 第2回以降は調整中

## (2) アーバンデザインセミナー(年間7回程度)

広く市民がアーバンデザインを身近に感じることができるよう、テーマごとの相互学習の場と機会を提供する。今年度は「大学のあるまち、学生のいるまち」を大きなテーマとし、大学や学生がまちづくりにどのように関係しているかなど、セミナーを通じ学習できる内容として開催する。



<sup>1</sup> 表中の産等は、産学公民の連携先を示している。⑥企業など、⑦大学など、⑧行政など、⑨市民など。

第1期:「つながりのあるまち」

	開催日	内 容	参加者数
第1回 学	8/10	テーマ:コミュニティカフェが育む地域のつながり 講師:岡井 有佳 氏(UDCBK センター長 立命館大学 理工学部 環境都市工学科 教授) 坂本 賢矢氏/桑野 稜市氏(立命館大学大学院 理工学研究科 都市計画研究室) 杉本 俊子氏/谷 正美氏(のじのじカフェきらく スタッフ)	36 人 内訳 オンライン 15 人 UDCBK 21 人 アーカイブ視聴 16 回
第2回 産学	8/19	テーマ:町の自転車屋さんが始めた、食を通じて地域と つながる場づくり 講師:松本 愛梨 氏(立命館大学 食マネジメント学部 4回生) 林 健太郎 氏(京都自転車販売株式会社 営業本部長) 十塚 悠 氏(合同会社 洛北社中 代表)	24 人 内訳 オンライン 10 人 UDCBK 14 人 アーカイブ視聴 11 回
第3回 学	10/1	テーマ:地域資源の価値を可視化する 講師:寺脇 拓 氏(立命館大学 経済学部 教授)	17 人 内訳 オンライン 3 人 UDCBK 14 人 アーカイブ視聴 11 回

第2期:「未来のまち」

	開催日	内 容	参加者数
第1回 産学 公	11/9	テーマ:未来の技術で実現する夢のある「まち」 ～ロボットフレンドリーとスマートシティの実現に向けて～ 講師:板橋洋平氏(経済産業省 ロボット政策室長補佐 山村真司氏(株式会社 日建設計総合研究所 執行役員・スマートシティグループマネージャー) パネリスト:川村貞夫氏(立命館大学 立命館グローバル イノベーション研究機構 教授) ファシリテーター:岡井有佳氏(UDCBK センター長 立命館大学 理工学部 環境都市工学科 教授)	一人 内訳 オンライン 一人 UDCBK 一人

※11月4日(金)～11月9日(水)をロボティクスウィーク@UDCBK と位置づけ、オープンスペースにおいて立命館大学情報理工学部プロジェクト団体「Ri-One」による展示・技術紹介・実演などを行う予定。

第3期:「健やかなまち」

1月～3月に3回程度開催する予定をしており、龍谷大学からの2件の企画提案および健康都市に関するセミナーを開催することで調整中。

### 3. 社会実験準備事業

草津市が包括協定を締結する7大学を対象にUDCBKの提示するテーマについて社会実験の提案を準備事業として委託する。

今年度は、前年度までの枠組みを踏襲した運用を図りつつ、より草津市のまちづくり、とりわけ南草津ビジョンの実現に資する



《フェリエ歩きの様子》



《立体模型を使ったWS》

ような取組みを重視して募集し、審査の上、下記事業について採択した。

現在、各事業責任者が事業を実施しており、11月末に中間報告の提出をいただき、2月頃に事業の成果報告会を開催する予定。

#### A 区分

募集テーマ	応募事業名	応募大学	事業責任者名
ウォークアブルな健康都市づくり	音環境デザインによるウォークアブルな街路空間の創出	立命館大学	理工学部 教授 塩見 康博
市民の居場所としての魅力ある公共施設・公共空間づくり	地域と大学の連携による気軽に滞留できる居場所の創出 ～南草津駅周辺の公共施設・公共空間デザインワークショップ～	立命館大学	理工学部 助手 寶珍 宏元
市民の居場所としての魅力ある公共施設・公共空間づくり	ナッジによる行動変容を活かした安全で快適な公共空間づくり	滋賀県立大学	人間文化学部 准教授 山田 歩

#### B 区分

募集テーマ	応募事業名	応募大学	事業責任者名
歴史と文化、景観の魅力を活かすまちづくり	水辺の景観・歴史・文化を再考する住民参加型ワークショップ	立命館大学	理工学部 准教授 金 度源